

拝啓

長い間お世話になりました。初めてお会いした時僕はまだ小学生でした。学舎に入るのは僕が小六になる春プロでした。それから七年間高校を卒業するまで見て頂き、ありがとうございました。学舎では勉強以外にも人として生きていく上で大切な感謝、思議を学び、人間性も高めることができました。

小中学校の時の僕はまだ元気に燥ぐだけで、周りを見ることができず自己中心的に日々を過ごしていました。しかし、それから高校になってから色々な事を熟していくなかで、本当に大切なのは、利己的に過ごすのではなく、利他的に過ごすことなんだと思いました。

塾長と事務長と過ごしていくなかで学んだ事を風化させず、ここからの自分に活かしていけるように大切にしています。ここからも機会があればよくお願い致します。

啓具

令和二年

山田 勝登様

公子様